

横浜市長浜木一儿

指定管理者選定評価委員会

審査報告書

平成 27 年 6 月

1 経緯

横浜市長浜ホールの指定管理者の選定にあたり、横浜市長浜ホール指定管理者選定評価委員会（以下、「選定評価委員会」という。）は、「横浜市長浜ホール指定管理者公募要項」（以下、「公募要項」という。）Ⅰ 5（5）アに基づき、応募者の提出書類の審査及び面接審査を行いました。

このたび、選定評価委員会による審査が終了し、選定評価委員会として指定候補者を選定しましたので、「横浜市長浜野口記念公園の集会施設（横浜市長浜ホール）指定管理者選定評価委員会運営要綱」第10条に基づき、ここに審査結果を報告します。

2 横浜市長浜ホール指定管理者選定評価委員会 委員

	氏 名	所 属 等
委員長	芦澤 美智子	横浜市立大学国際総合科学部准教授
委員	岡部 友子	東京都庭園美術館副館長
委員	鈴木 やよい	NPO 法人横浜市民アクト理事
委員	高橋 義仁	専修大学商学部教授

3 審査の経過

平成 27 年1月 26 日	第1回選定評価委員会(委員長の選任、公募要項等の確定) (傍聴者1人)
平成 27 年2月6日	公募の周知及び公募要項の公開
平成 27 年2月6日 ～ 2月 13 日	現地見学会及び応募説明会の参加申込の受付
平成 27 年2月 16 日	現地見学会及び応募説明会の開催(参加6団体8人)
平成 27 年2月 19 日 ～ 3月4日	応募登録の受付(4団体)
平成 27 年2月 19 日 ～ 3月4日	公募要項に関する質問の受付
平成 27 年3月 12 日	公募要項に関する質問の回答(2団体5問)
平成 27 年4月2日 ・ 4月3日	応募書類の受付(2団体提出)
平成 27 年5月 13 日	第2回選定評価委員会(公開ヒアリング、本審査) (傍聴者7人)

4 応募者

2団体からの応募がありました。

相鉄・神奈川共立共同事業体	
代表団体	株式会社相鉄エージェンシー
構成団体	相鉄企業株式会社
構成団体	株式会社神奈川共立
日本メックス株式会社	

5 応募者の提出書類審査及び面接審査の実施

第2回選定評価委員会では、応募者について、応募書類により、公募要項に定める応募の資格を持ち、欠格事項及び失格事項に該当しないことを確認しました。また、公募要項Ⅰ5（5）イにおいてあらかじめ定めた「評価基準項目」に従って、応募者の提出書類の審査及び面接審査（応募者によるプレゼンテーション及び質疑）を行い、指定候補者の選定を行いました。

点数については、各委員の特点を200点とし、委員は4名ですので、総計は800点です。委員の平均点が、最高点（200点）の60%（120点）未満の場合または各大項目（1～7）の小計において、当該項目の委員の平均点が、当該項目の最高点の20%未満の項目が1以上ある場合は改めて公募を実施することとしました。

6 応募者の提出書類審査及び面接審査の結果

応募者に対する提出書類の審査及び面接審査（プレゼンテーション及び質疑）を厳正に行った結果、以下のとおり決定しました。

	応募者	得点（合計）
指定候補者	相鉄・神奈川共立共同事業体	546 点
次点候補者	日本メックス株式会社	506 点

※得点の内訳は、別紙のとおりです。

7 講評

団体名	評価及び指摘事項
相鉄・神奈川共立 共同事業体	<p>長浜ホールは歴史的建造物として施設自体の歴史があり、施設が持つストーリーをブランド化していく提案内容となっています。地域のまちづくりのためというビジョンが明確にわかり、地域との関わりあいの姿勢を評価しました。</p> <p>一方で、ソフト面、財政面において、より一層の工夫の余地があると考えられます。現指定管理者として現在の施設の状況をわかっているがゆえに、もっと施設に対する努力が内容に反映された提案となっていれば良かったと思います。</p>
日本メックス株式会社	<p>経費削減に対する意識が高く、施設管理に関する豊富な実績、ノウハウを有しており、これまでの経験を長浜ホールでも生かされることが期待できました。</p> <p>しかし、文化事業を実施するノウハウについては不安が残る提案となりました。東京都中央区での施設管理の成功体験を、立地や条件が異なる長浜ホールでそのまま実現することができるのかという点で多少の疑問を感じました。施設の特性を踏まえ、長浜ホールの価値を上げていくような、より広い視野が必要であったと考えます。</p>

8 総評

2団体より応募があり、厳正な審議を行った結果、最も高い得点を得た「相鉄・神奈川共立共同事業体」を指定候補者、次に得点が高かった「日本メックス株式会社」を次点候補者と決定しました。

今回提案があった2団体は、「相鉄・神奈川共立共同事業体」が舞台や音楽事業に強みを感じ、「日本メックス株式会社」は施設の管理に強みを感じるという、対照的な2団体による提案で、委員の間でも評価が分かれる結果となりました。様々な事業を広く実施するのではなく、施設がもつ歴史やブランドをうまく事業内容に反映させた提案が、最終的により高い得点を獲得する結果となりました。

指定期間の5年間でやっと達成できるような大きな目標を持っていないと、文化の促進は進まないのではないかと思います。指定候補者に選定した「相鉄・神奈川共立共同事業体」は、数値目標を明確に定め、横浜市及び選定評価委員会が提案された内容が実行されているかしっかりと評価及び検証することで、提案内容を確実に実現して頂きたいと思います。

「相鉄・神奈川共立共同事業体」が横浜市長浜ホールの指定管理者の指定を受けることになれば、第2期に引き続き、第3期も同じ指定管理者が管理運営を担うことになります。指定管理者には、施設を見たところ古くなった箇所が見受けられますので、設備に対して一層愛着を持って頂き、こまめな修繕を実施して頂きたいと思います。

(別紙) 横浜市長浜ホール指定管理者選定評価委員会 得点内訳

評価基準項目	配点	相鉄・神奈川共立 共同事業体				日本メックス株式会社			
		A委員	B委員	C委員	D委員	A委員	B委員	C委員	D委員
1 団体の状況	10	6	10	8	6	6	8	6	6
団体の状況（財務状況含む）									
2 指定管理業務実施にあたっての基本的な方針	20	12	18	16	14	12	12	12	13
(1)市の文化政策等への見解、応募理由 (2)基本的方針（ビジョン・ミッション含む）									
3 職員配置・育成	20	12	16	15	14	10	12	12	12
職員の確保、配置及び育成									
4 事業計画（調査、企画、実施）※自主事業を含む	55	28	53	45	36	35	33	31	37
(1)旧細菌検査室等建築物の保存・管理・公開及び価値の普及並びに野口博士の功績紹介									
(2)文化芸術の鑑賞、創作活動の機会の提供及び地域コミュニティの形成・社会的包摂（ソーシャルインクルージョン）の推進									
(3)市民協働、市民主体の活動の支援、地域人財育成及び文化的コモンズ形成の牽引									
(4)広報・プロモーション活動、情報提供 (5)アイデア・ノウハウの一層の活用									
5 施設の運営	35	19	33	21	21	19	21	24	23
(1)貸出業務への取組 (2)要望・苦情への対応									
6 施設の管理	30	18	21	23	19	18	25	22	21
(1)施設及び設備の維持保全及び管理並びに小破修繕への取組									
(2)事故防止体制・緊急時（防犯）の対応・感染症対策等衛生管理									
(3)防災に対する取組 (4)個人情報保護・情報公開、人権尊重、環境への配慮、市内中小企業優先発注など、本市の重要施策を踏まえた取組									
7 収支計画及び指定管理料	30	11	18	16	17	20	18	18	20
(1)利用料金の考え方と具体的な料金設定、支払方法や割引料金・減免等の運用方法の考え									
(2)指定管理料のみに依存しない収入構造、経費削減等効率的運営の努力 (3)5年間の収支及び収支バランス（指定管理料の提案含む）									
小計	200	106	169	144	127	120	129	125	132
合計	800	546				506			